

～自分たちにできるボランティア活動 で地域の福祉に貢献を～ 「アルミ缶回収活動」

奈良市立月ヶ瀬中学校（第10回 環境美化教育優良校等表彰事業 特別賞受賞校）

奈良市の北東端に位置し、古くから有名な文人墨客が訪れた名勝月瀬梅林。現在も多くの観光客が訪れる、風光明媚なところに月ヶ瀬中学校があります。

平成8年度から生徒会の取り組みで始まったアルミ缶回収活動は、毎月1回行われ、開始から14年間継続して実施している自慢の活動です。準へき地の小規模校のため、全校生徒数43名で一斉に活動するだけでなく、地域住民の協力・支援を得て展開しています。平成19年度にはこの活動が評価され、アルミ缶リサイクル協会から感謝状をもらいました。



地域の方々の協力もありたくさんのアルミ缶が学校に集められます。

アルミ缶回収活動の流れを知ることによる 気づき

<アルミ缶回収活動の流れ>

- ・生徒による回収袋配り
- ・地域住民協力のもとアルミ缶を学校に回収
- ・生徒全員が協力してアルミ缶を取り出す
- ・足で踏んで潰しトラックに積み込む
- ・近隣のアルミリサイクル工場に搬入

アルミ缶リサイクル工場では、持ち込んだアルミ缶がどのように再生されるのを見学して学習します。見学することにより、生徒たちが毎月実施しているアルミ缶回収活動の意義に気づき環境に対する理解や意識の高まりに繋がっています。

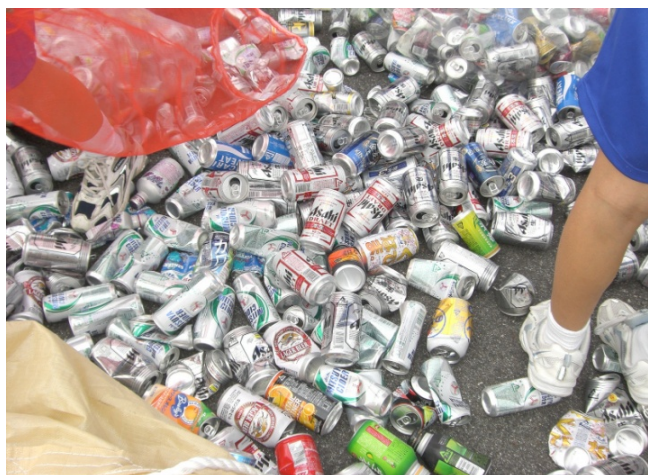
また、リサイクル工場体験・学習したことを生徒各自が様々な視点でまとめ、そのまとめた内容をホームページにのせて学校外へと発信しています。



アルミ缶リサイクル工場でアルミ缶がどのように再生されるのを見学し学んでいます。



地域の社会福祉施設に車椅子を寄贈しています



年間で約3トンのアルミ缶を回収しています

アルミ缶で車椅子を！

アルミ缶回収活動は、平成7年度に行った英語の授業（飢えに苦しむ外国の子供たちを取り上げた内容）の中で、生徒たちが「今の自分たちにできることは何か」を考えたことがきっかけで始まりました。その後、その意志を受け継いだ生徒会執行部が再度「自分たちにできることは何か」を考え生徒総会で提案し、「アルミ缶で車椅子を！」のスローガンのもと、生徒全員で地域全戸からアルミ缶を集め、その収益金で福祉施設に車椅子を寄贈しようということになりました。

現在では、多くの方の協力のもと、70台以上の車椅子を寄贈することができています。他にも介護ベッドや歩行車など、多くの福祉器具を寄贈し、地域に貢献しています。

このような地域に根ざした体験活動を推し進めることで、地域環境を理解するだけでなく、“地域で体験、地域に貢献、そして地域と繋ぐ活動”の展開を目指しています。この活動が、環境美化や資源の有効利用になるとともに、自分たちにできるボランティア活動を行い、地域の福祉に貢献すること、地域の人々との交流や、さらなる地域の活性化につながっていくことを期待しています。

【学校情報】※平成22年1月現在
奈良県奈良市立月ヶ瀬中学校

◆住所

奈良県奈良市月ヶ瀬尾山2551

◆学校長：西浦範光

◆生徒数：43名

◆創立：昭和22年4月22日

